

メディアドゥ/光和コンピューター

電子書籍 売上・印税管理システム

「PUBNAVI」提供開始

メディアドゥと光和コンピューターは6月1日、電子書籍の売上げ・印税管理システム「PUBNAVI(パブナビ)」のサービス提供を始めた。基本的に絶版がなく、増え続ける電子書籍販売形態が多様化するなかで売上・印税管理など、煩雑な出版社の業務を軽減化する。30日間利用できる「無料お試し版」も用意した。

煩雑な出版社業務を軽減化

メディアドゥと光和コンピューターが共同開発し、光和コンピューターが販売窓口を担う。電子書籍は紙版と異なり、絶版になりにくい特性から半永久的に点数が増え、管理業務も増え続ける。すでに、その業務

に追われている出版社は多いという。パブナビは著作権者ごとに異なる「契約」をはじめ、電子書籍の「販売」「印税計算」「支払い」などの管理機能を備えたサービス。単品、シリーズ、レー

ベル、売上時期、読み放題などの販売形態ごとに売上管理でき、著者への支払通知、明細、支払調書、マイナンバーの管理もできる。ネット環境があればどこでも使えて、導入コストが抑えられるクラウド

経由のSaaS型で開発した。初期登録料は5万円。月額使用料は電子書籍の年間入金規模により異なる。1000万円未満は月1万8000円、1000万円〜3000万円未満は同5万円、3000万円〜1億円未満は同10万円、1億円〜3億円未満は同15万円、3億円

10億円未満は20万円(いずれも税抜価格)、10億円以上は要相談。「無料お試し版」は、システム上の運用手順を

「プレビュー版」と「トライアル版」の2段階に分けて体験できる。プレビュー版では支払先、印税契約、商品、販路、スケジュール設定のマスターや、ファイルのサンプル売上データで、画面やその操作感を体験できる。利用期間は最大30日間。導入を検討する出版社にはトライアル版を提供。自社マスターデータを登録して、一連の売上・印税管理作業を試すことができる。お試し版の

申込みは同サービスの特設サイト<https://pubnavi.com/ja>。メディアドゥと光和コンピューターではこれまで、出版社16社を対象にクラウド版でテストを行ってきた。そのうち、(株)マンガボックスと秀和システムの2社はサービス提供前に導入を決めて、すでに運用しているという。なお、紙版の管理システムサービス提供は来年以降を予定している。